

2009年度 大阪大学 前期 世界史

(I)

問一

隋の煬帝が大運河を開削したことで政治の中心であった華北と江南が連結され、唐ではムスリム商人が広州を訪れ、安史の乱以降華北の混乱もあり江南の経済的比重が高まった。さらに宋では長江下流域が稲作の中心になり、泉州など長江以南の港が発達した。これをうけ元は大運河を整備し、海運も利用して江南から大都へ食糧供給を行った。そして、江南の経済力を背景に成立した明は都を南京においた。(184字)

問二

国家名 金

仏教や儒教が信奉される一方で、道教の改革派である全真教が王重陽により創始された。(40字)

問三

イラン系言語を使用したソグド人など先住民がトルコ人に同化してトルコ語が使用されるようになり、宗教は従来のマニ教や仏教に代わってイスラームが西方より伝来・普及した。(81字)

(II)

第二次世界大戦後冷戦が始まり、東欧にソ連の指導で共産主義政権が成立すると、アメリカはトルーマン宣言やマーシャル＝プランを通じて東側の封じ込めを図ろうとした。ソ連はこれに対抗してコミンフォルムやコメコンを結成して共産勢力の連帯を強化し、西側もチェコスロヴァキアがクーデタで共産化したことを契機に西ヨーロッパ連合条約を結び、さらに北大西洋条約機構を結成した。ドイツはヤルタ協定によって米英仏ソの四国占領下に置かれたが、西側が占領地域で通貨改革を断行すると、これに反発したソ連はベルリン封鎖を実施した。そして封鎖の解除後、西部にはドイツ連邦共和国が、東部にはドイツ民主共和国が成立して分断が固定化された。(299字)

(III)

問一

日本では南北朝の争乱が起こり、これを背景に倭寇が大陸沿岸に出没した。中国では元に対して紅巾の乱が起こり、明が成立した。この交替は高麗に混乱を起こし、李成桂の朝鮮建国につながった。西欧では百年戦争や黒死病による人口の激減を背景に、農民反乱が頻発した。(124字)

問二

ドイツでは宗教戦争である三十年戦争が起こり、国土の荒廃とハプスブルク家の衰退を招いた。フランスではルイ14世がナント勅令を廃止したため、迫害を恐れたユグノーが国外へと亡命した。イギリスではピューリタン革命と名誉革命が起こり、政治の実権が王から議会へ移った。オスマン帝国は第二次ウィーン包囲失敗を機に、ハンガリーを喪失してヨーロッパから後退した。ムガル帝国のアウラングゼーブはイスラーム主義の政策を進め、異教徒の反発を招いた。中国では明が滅び清が進出したが、これに対し鄭氏の抵抗が続き、三藩の乱も起こった。(252字)